

# 4 施設概要

新市民会館は、市民の創作活動や習い事、講座など生涯学習活動の拠点として、市民の芸術文化活動を促進する施設として整備します。

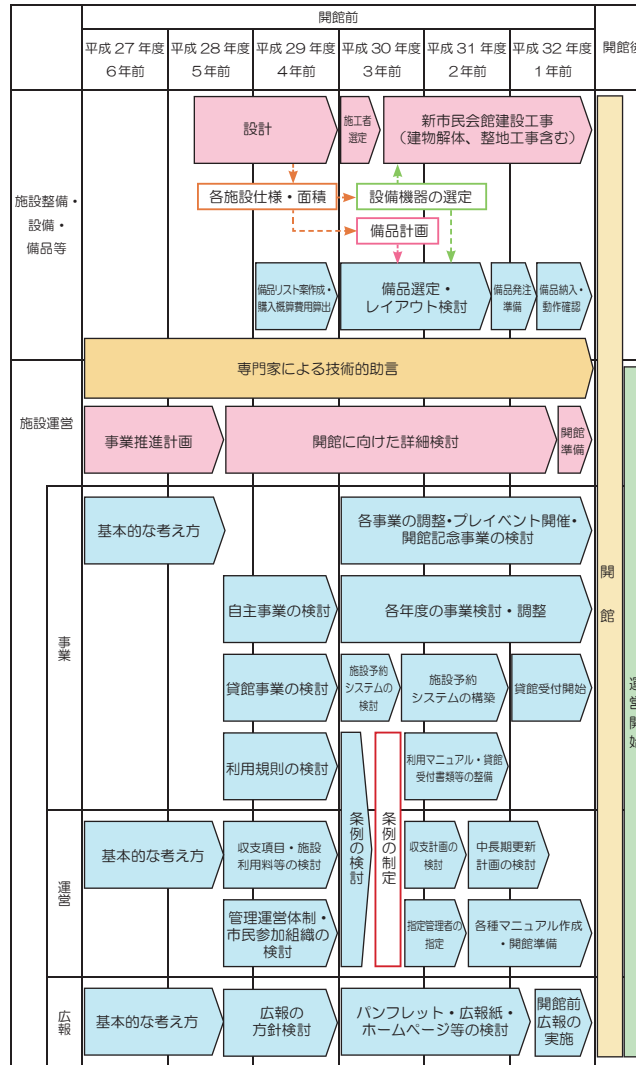
本市を含み、茨城県内には、2,000席規模のホールを有する施設がないため、全国のホールを回るコンサートツアー、吹奏楽や合唱コンクールなどの関東大会や全国大会をはじめ、全国規模の大会や式典、大規模イベントの開催ができる施設の整備が求められています。また、本市でコンベンションを開催したいという要望に対しても、会場が確保できないといった課題があります。

このような状況を踏まえて、市民会館整備調査特別委員会での審議、団体ヒアリング、市民アンケート、市民ワークショップなどで採り入れた市民の意見も反映させながら、次のとおり施設概要を決定しました。

部門	各部門の利用イメージ	主な施設構成
①大ホール部門 (2,000人程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○芸術文化の発表（吹奏楽や合唱コンクール）</li> <li>○鑑賞機会の提供（オーケストラ、室内楽・器楽、吹奏楽、合唱、ロック・ポップス、歌謡曲、演歌、ジャズ、演劇、ミュージカル、邦楽、ダンス・バレエ、民族舞踊、演芸等）</li> <li>○コンベンション、大規模イベントの開催（フェスティバル等）</li> <li>○講演会、学会、式典等の主たる会場</li> </ul>	舞台、客席、ホワイエ、楽屋等
②多機能ホール部門 (500人程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○芸術文化の発表（ピアノ発表会、創作活動発表会等）</li> <li>○市民主体の芸術文化活動（映画の上映、演劇等）</li> <li>○研修会、総会、講座等の主たる会場</li> </ul>	舞台、可動客席、ホワイエ、楽屋等 ※平土間としても利用できる。
③展示ホール部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>○芸術文化の発表・美術展示（絵画、彫刻、書道、写真等）</li> <li>○物産イベント、商談会の会場</li> </ul>	展示スペース、倉庫等
④会議室部門 (15～20室程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会議室</li> <li>○イベント、大会等の分科会の主たる会場</li> </ul>	大会議室、中会議室、小会議室等
⑤創造支援部門 (10～15室程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民主体の芸術文化の活動（音楽や演劇等の練習、お茶会等）</li> </ul>	各種練習室（稽古場）、和室等
⑥交流部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民が日常的に集える交流拠点</li> <li>○情報発信拠点</li> </ul>	エントランスホール、ロビー、喫茶、託児室等
⑦管理運営部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>○芸術文化活動を支える管理、運営の場</li> </ul>	事務室、機械室、備蓄倉庫等

※複数の部門を複合的に利用することにより、3,000人規模のコンベンションに対応します。

# 5 スケジュール



**水戸市新市民会館事業推進計画**  
【概要版】

編集・発行  
水戸市 市民協働部 文化交流課  
〒310-8610 水戸市中央1丁目4番1号  
電話 029-224-1111（代表）

# 水戸市新市民会館 事業推進計画 【概要版】



人が集まり、にぎわい  
市民の活動をはぐくみ  
ひと、まち、文化がつながる



平成29年3月 水戸市

# 1 計画策定の経緯

## 事業推進計画の目的

旧市民会館は、2011（平成23）年3月の東日本大震災で被災し、泉町1丁目北地区への移転建替えが決定しました。本市では、2014（平成26）年度に、新市民会館の基本的な考え方、施設計画、敷地計画、概算事業費等を含めた「水戸市新たな市民会館整備基本計画」を策定しました。

本計画は、整備基本計画を受けて、開館に向けて事業を円滑に推進するための基本となる方向性を示したものであり、新市民会館の設計や事業展開に反映していきます。

## 新市民会館に期待する効果

- 水戸芸術館との相乗効果による、芸術文化の拠点として、「みと」の魅力の発信
- 都市中枢機能の集積による、コンパクトシティの実現
- 飲食店、商業施設等との連携による、中心市街地の新たなにぎわいの創出
- 充実した公共交通による、多くの人々が気軽に立ち寄れる環境の整備 など

## 新市民会館に求められる機能

- 市民の芸術文化活動を促進する施設
- 著名なアーティストの公演が開催できる施設
- 吹奏楽や合唱コンクールなどの関東大会や全国大会が開催できる施設
- 全国規模の大会や式典、大規模イベントが開催できる施設
- 3,000人規模のコンベンションに対応できる施設

## 新市民会館の整備によるまちづくりとその効果

にぎわいづくりの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のさまざまな芸術文化活動をはじめとする日常的なにぎわいの創出</li> <li>コンサート、イベント、コンベンション等の開催による交流人口の呼び込み</li> <li>多彩な文化や交流の創出につながるソフト事業の充実</li> <li>商店街や他の公共施設と連携し、「新たな人の流れ」を生み出す</li> </ul> <p>→「みと」の魅力の発信や産業の育成、経済波及への効果につなげる</p>
広域連携の視点	<p>茨城県央地域定住自立圏域（水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村）の住民への利用促進</p> <p>→さらなる交流人口の増加につなげる</p>

### 《 水戸芸術館との連携による効果 》

- 全国に誇れる芸術文化の拠点を形成することができる
- 本市の芸術文化の裾野を広げることが可能となる
- 多くの市民が芸術文化に触れる機会を提供できる
- 2つの施設の相乗効果が生まれ、水戸ならではの特色ある魅力が発信できる
- 幅広い年代の人々が質の高い芸術文化に親しむことのできる環境づくり

# 2 新市民会館の運営目標

新市民会館の整備によって、水戸芸術館とあいまって芸術文化の拠点となるための基盤が整備されます。そして、その基盤を最大限に活用することで、運営目標である「人が集まり、にぎわい、市民の活動をはぐくみ、ひと、まち、文化がつながる 市民参加の運営」と数値目標である「年間来館者数 60万人」の実現が可能となります。

新市民会館の事業推進に当たっては、運営目標の3つのキーワードである「にぎわう」、「はぐくむ」、「つながる」を軸として「事業」、「運営」、「広報」の目指す方向性などについて検討します。



# 3 新市民会館の目指す方向性

## 事業

にぎわう	魅力ある公演と大規模イベント等の積極的な誘致、開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞機会の提供</li> <li>コンベンションの誘致・大規模イベントの開催</li> <li>まちなか憩いの空間の提供</li> <li>自主事業の展開</li> </ul>
はぐくむ	多様な市民利用・市民協働イベント等の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民主体の芸術文化等の支援</li> <li>芸術文化の普及・啓発</li> </ul>
つながる	水戸芸術館・まちなかと連携した“独創的な”事業の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>水戸芸術館と連携した事業</li> <li>「みと」の魅力を高める魅力度アップネットワークの構築</li> <li>市民協働イベント等の実施</li> </ul>

## 運営

にぎわう	積極的な事業推進活動を実施するための組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業企画担当及び広報・営業担当を設置し、組織全体で、事業を推進できる体制を構築</li> </ul>
はぐくむ	市民を支え、活動をはぐくむ組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用担当を設置し、利用団体等にさまざまなアドバイス等の支援を実施</li> <li>地域連携・市民協働担当を設置し、市民や市民活動団体と連携し、協働で事業展開できる団体を育成</li> </ul>
つながる	ひと、まち、文化をつなぐネットワークを構築する組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域連携・市民協働担当を設置し、まちなかの各種団体とのネットワークを構築してまちなかに広がる事業の展開を図る</li> </ul>

## 広報

にぎわう	にぎわいを創出するための認知度の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的・継続的にさまざまな広報媒体等を通じて新市民会館の情報を発信</li> <li>魅力的な公演、質の高い公演、水戸のオリジナル事業等を全国に広く周知し、新市民会館の認知度を高める</li> </ul>
はぐくむ	新市民会館への「愛着」の醸成施設イメージの醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画や経緯、進捗状況等を随時公開し、関心を集め、理解を深めることで「愛着」をはぐくむ</li> <li>事業の情報発信により、施設のイメージを醸成</li> </ul>
つながる	ひと、まち、文化をつなぐ広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の魅力を積極的に発信し、地域の発展に寄与</li> <li>施設概要を積極的に情報発信し、誘致につながる関係を築く</li> <li>周辺の商店、飲食店、宿泊施設等と、各々のイベントに関する情報の共有化を図る</li> </ul>